

金融リテラシー調査の結果



お金や暮らしの知恵を学びましょう！

前号まで、金融リテラシー（お金の知識・判断力）を高めることが、生活していく上で利点をもたらしてくれることをご紹介しました。

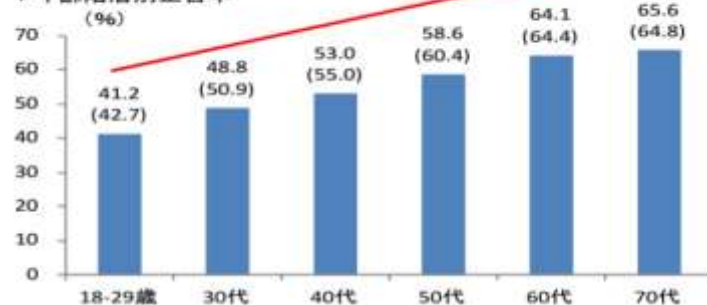
わが国の金融リテラシーの現状を把握することを目的に、金融広報中央委員会が実施している「金融リテラシー調査」という調査があります。正誤問題や意識を問う設問があり、3年おきに実施されています。直近では2022年に実施されました。

2022年 金融リテラシー調査の結果（正答率）

▽金融リテラシー・マップ分野別正答率

金融リテラシー・マップの分野		2016年	2019年	2022年
家計管理		51.0	52.3	50.7
生活設計		50.4	50.8	49.0
金融知識	金融取引の基本	72.9	74.0	73.3
	金融・経済の基礎	48.8	49.8	49.3
	保険	52.5	54.4	53.4
	ローン・クレジット	53.3	54.4	52.5
	資産形成	54.3	54.8	54.7
外部の知見活用		65.3	65.6	64.8
合計		55.6	56.6	55.7

▽年齢階層別正答率



正誤問題（25問）の正答率は、前々回、前回から横ばいの55.7%でした。年齢、金融・経済情報を見る頻度が高いほど、正答率が高くなる傾向にあります。

また、正答率が高い人には、金融トラブル経験者の割合が低い傾向もみられました。

問題に挑戦してみましょう！



Q1. 平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがある。○か×か？

Q2. 100万円を年率2%の利息がつく口座に預けました。これ以外にこの口座の入出金が無かった場合、1年後の残高はいくらでしょうか？利息にかかる税金は考慮しません。

日本の結果は上記のとおりですが、他国ではどのような結果だったのでしょうか。次号は、他国との結果比較について取り上げます。